

9月10日は「下水道の日」です

《下水道 水から聞こえる 「ありがとう」》

(平成22年度下水道推進標語)

「下水道の日」は、著しく遅れているわが国の下水道の全国的普及を図る必要があることから、このアピールを全国的に展開するため、「全国下水道促進デー」として始めました。

そして、近年の下水道に対する認識の高まりもあり、この際「下水道の日」に変更されることになったものです。

五霞町の下水道

町が行った下水道事業は、大きく分けて「公共下水道(以下、公共)と農業集落排水(以下、農集)」の2事業があります。

公共は、市街化区域と市街化調整区域の各家庭からの生活排水などを環境浄化センターで処理しています。

農集は、主に農業振興地域が対象となり、大福田・東部・北部・南部の4地区がそれぞれ整備され供用しています。

これらの下水は、各家庭からの生活排水などを下水道管で1

個所に集め、そこできれいに浄化し川に放流しています。

早期接続のお願い

力を入れていきますので、下水道が使えるようになった区域でまだ下水道に接続されていない方は、早期の接続にご協力をお願いします。

現在、町の下水道普及率(農集含む)は98.5%となっており、茨城県内でも上位となっています。

町では、下水道の普及促進に

お問い合わせ

上下水道課 下水道G

☎(84)3346

下水道とは

下水道とは、家庭の台所、ふろ、水洗トイレなどから出る汚れた水を下水道管(汚水管)で処理場に集めて、そこで水をきれいにし川や湖にもどす施設全体をいいます。

○下水道のはたらき

1. 生活環境をよくします。
2. 水洗トイレが使えます。
3. 川や湖をきれいにします。
4. 雨水による浸水を防ぎます。

川のごれの一の原因は、家庭から出される生活排水です。下水道の接続にご協力をお願いします。



農家のみなさまへ 稲わらの焼却防止にご協力を!

稲わら、麦わらの焼却は、地域住民の健康への影響や延焼による火災の恐れがあります。

また、最近では洗濯物や室内に臭いが付着するなどといった苦情も寄せられています。

稲わら、麦わらは大切な資源です。

人と環境にやさしい農業を推進するために、稲わら、麦わらは焼却せずに有効に活用しましょう。

稲わら、麦わらの有効活用例

○水稲、大豆

水田へのすき込みによる有機物の供給

※水田へすき込みする場合には、腐熟を促進させるために、必ず腐熟促進剤を施用しましょう。

○果樹

敷わらによる地表面マルチ、マルチ栽培の緩衝資材

○野菜

すき込みによる有機物の供給、敷わらによる地表面マルチ

○畜産

繁殖牛、飼育牛等の粗飼料としての利用

敷き料としての利用

○その他

たい肥の原料としての利用

【注意】

やむを得ず焼却する場合には、風向きなど十分考慮し、ご近所の迷惑にならないよう心がけてください。

○お問い合わせ

産業課 地域産業G

☎(84)2582 (直通)